

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立金石町小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校6年生:令和8年1月実施) (％)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	48.0	39.0	9.0	4.0	0
問2	英語科の勉強は大切だ。	76.0	9.0	9.0	6.0	0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	48.0	48.0	4.0	0.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	31.0	46.0	19.0	4.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	20.0	54.0	24.0	2.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	83.0	17.0	0.0	0.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	80.0	17.0	4.0	0.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	39.0	54.0	6.0	2.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	26.0	50.0	22.0	2.0	0.0

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	55.0	33.0	10.0	2.0	0.0
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	55.0	23.0	15.0	6.0	1.0
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	56.0	28.0	12.0	3.0	1.0

②指導改善の具体策

【英語科】 英語で話している内容の聞き取りに関して不安な児童がいるので、ゆっくり話したりゼスチャーつけたりするなど工夫をしていく。また英語で質問することを苦手としている児童がいるので、アクティビティの時間を長めにとるなど、活動を多く取り入れていく。 【デジタル科】 1時間ごとのふり返しをして形に残す。ふり返りの内容は、1時間で学んだことや今後どんなことをしたいかについて書く。

③学校関係者評価

・英語の授業が楽しい、分かると感じている児童の割合が高いが、英語で発表することができると感じている児童の割合はやや低い。児童が自信を持って話せるように、児童どうしが関わり合える環境を作っていくとよい。 ・アルファベットの大文字小文字が書けると感じている児童の割合が高い。毎時間1～2分間書く時間を設けていたのはよいことだ。 ・先生方は工夫して端末を使った授業をしている。児童も端末の使い方が上手だ。 ・デジタル科の学習について、どのような学習が行われているのか、保護者や地域にも知らせてほしい。
